

海上の杜技術士会 第 21 回 技術研修会 次第

(令和 5 年 5 月 27 日 於:愛知県産業労働センター ウィンクあいち 9 階 903 会議室)

- 14:00～ 受付開始
- 14:15～ 14:20 開会のあいさつ 山里 剛史 会長 (S54 卒)
- 14:20～ 15:30 基 調 講 演 I
演 題 ソイルセメント山留め壁の本設杭利用に
関する研究
講 師 渡邊康司 先生
所 属 愛知工業大学工学部土木工学科 准教授
- 15:30～ 15:40 休 憩
- 15:40～ 16:50 基 調 講 演 II
演 題 ダム用 PS アンカーの使い方と実践
講 師 川崎 秀明
所 属 NPO 風土工学デザイン研究所代表
(一般財団法人ダム技術センター 技師長)
- 16:50～ 17:00 閉会あいさつ 伊藤 久也 (S58 卒)

CPD 登録申請中

基調講演 I

ソイルセメント山留め壁の本設杭利用に関する研究

講演者 渡邊康司 先生

愛知工業大学 工学部 土木工学科 准教授

(1) 講演要旨

ソイルセメント壁は、従来、掘削工事の際の山留め壁として用いられ、仮設構造物として扱われてきた。しかしながら、近年、基礎構造の合理化や環境負荷の低減などのニーズが高まりつつあり、仮設構造物として扱われてきたソイルセメント壁を本設杭として利用するための検討を進めてきた。

基礎底以深の根入れ部分を本設杭として利用する際のソイルセメント壁の鉛直支持性能は、地盤から定まる支持性能と杭体から定まる支持性能で評価することとなる。

本研究では、仮設構造物として用いられる一般的な施工方法を用いて構築されたソイルセメント壁を対象として、鉛直支持性能の評価方法を構築するために一連の研究を実施した。

基調講演 II

ダム用 PS アンカーの使い方と実践

講演者 川崎 秀明

NPO 風土工学デザイン研究所代表(一般財団法人ダム技術センター 技師長)

(1) 講演要旨

2021年9月に発行された「ダム用 PS アンカー設計施工マニュアル」は、国内唯一のロックアンカー用指針として、プレストレストを入れる観点に立って、機材、防食仕様、アンカー対象物設計と一体となった設計・照査法、体系的緊張力管理、削孔等の施工法の細部、荷重試験、効果的な計測・点検・管理等について、最新の情報と豊富な設計施工事例でもって記述されている。

本講演は、当マニュアルの設計・施工の従来指針類との違いと考え方と実践方法について紹介するものである。